



植草学園記念式典が執り行われました

11月8日(土)午前11時から小倉キャンパスに於き、各方面から250名余の参加を得て、植草学園大学開学、植草学園短期大学創立10周年、植草学園文化女子高等学校創立30周年の合同記念式典及び祝賀会を執り行われました。



式典は、M棟(図書館棟)3階さくらホールにおいて行い、植草昭理事長が「教育の正道を真一文字に進み、社会や地域の発展に貢献して参りたい。」と抱負を述べました。そして、千葉県知事(白戸章雄副知事代理出席)、日本私立大学協会大沼淳会長、日本私立短期大学協会会長(佐久間勝彦副会長代理出席)、千葉県私学団体連合会古賀正一会長からご祝辞をいただきました。午後の祝賀会は、鶴岡啓一千葉市長、千葉県社会福祉協議会早川恒雄会長、臼井日出男理事(衆議院議員)から祝辞が述べられました。

当日は、高校吹奏楽部による演奏、バトントワリング部によるチアダンスの演技もあり、学園の節目となる行事となりました。

就活、頑張っています!!

ハローワークの方に模擬面接をしていただきました

一対一で面接をすることは、本番の試験の時のような気がして、とても緊張しました。先生は、感謝の気持ちを込めて礼をすることや、一つの質問に対して経験等を織り交ぜて具体的に答えること、相手の目をみて話することが大切だと教えてくださいました。緊張しないためには準備が大切ということで、しっかりと想定問題案を作成していきたいと思っています。今日学んだことを生かし、本番の面接に臨んでいきたいと思いました。



福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 藤野優美

僕は、社会人として社会に出ていることもあり、それなりにマナーは分かっているつもりでした。しかし、自分ではできていたつもりでも、相手からみれば良いイメージをもたれないところもありました。それに気付ける良いきっかけとなりました。当り前のことを当たり前に行えるようにしていきたいと思っています。そして、少しでも成長していけるように日々考えながら過ごしていきたいです。

福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 岩村歩

大学・短大の学生は、病院や施設等へ実習に行き、机上で学んだ理論を体感することにより、将来保育士や介護福祉士、理学療法士になるための準備や心構えをします。実習先で頑張ってきた学生の感想等をご報告いたします!

～保健医療学部 見学実習～

今回の見学実習で、理学療法士の仕事内容と患者さんと交流の方法を実際に見て学びたいと考えて望みました。特に、臨床現場では高度なコミュニケーション能力の必要性を痛感しました。

私は、コミュニケーションをとるのは得意な方だと思っていました。しかし、いざ臨床現場で、初対面の世代の異なる患者さんと交流する機会をいただきましたが、何を話せばいいかわからず、うまく話せませんでした。また、患者さんから気を遣っていただき、勇気づけられました。今回経験したこと活かせるように、今後は大学の講義だけでなく、人間性や社会性も向上できるように多くのことに取り組んでいきたいと思っています。



保健医療学部 理学療法学科 1年 鈴木里美

～介護実習で得たもの～

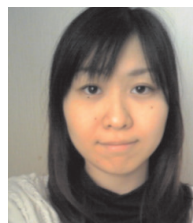


第一段階・第二段階・第三段階と合計58日間の介護実習で、たくさんの経験と知識を増やすことができました。実際に施設で介護業務を行うと、授業で教科書を見ながら習う勉強やとの学生間の演習とは全然違って、戸惑う部分もたくさんありました。最初の頃は覚えることも多くて、失敗をしたり注意されて落ち込む日もありましたが、注意されたことを自分のなかで前向きに考え、常に向上心を持ちながら行動することで自然と仕事も覚え、最後には誉めて頂けるようになりました。実習中の学びを自己満足で終わらせないように、これからの介護職で生かせたらいいと思います。

福祉学科 地域介護福祉専攻 2年 安藤真理奈

～実習を終えて～

一段階に身体障害者療護施設・二段階に介護老人保健施設・三段階に特別養護老人ホームで実習をしました。実習では、利用者とのコミュニケーションがとても大切ですが、高校の時に、老人ホームなどで、ボランティアの経験をしていた事により、その経験を活かす事が出来ました。今回の実習を通して、現場では、学校で学んだ基礎的な知識や技術だけでなく、利用者がより良い生活を過ごしていくには、どのような支援が必要なのか、他の職種との連携のあり方など実際に実習の中で学ぶ事が出来ました。また卒業後は、介護現場で働きたいと考えています。これからも、さらに知識・技術を磨いていきたいと思いました。



福祉学科 地域介護福祉専攻 2年 朝倉利恵